





事業番号	10 02 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課		
		実施期間	S33 ~	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現			②県民の豊かさ全国トップレベルを維持			
	⑥様々な人の労働参加を全国トップに						
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	2-6 郷土郷社の産業人材育成・確保				

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・森林を活かす力強い林業・木材産業づくりのために、課題解決に向けた試験・研究や教育の充実を図り、健全な森林の育成や関連産業の効率的発展を目指す。 ・林業大学卒業生における、林業・木材産業関係分野への就業者の継続的な確保 ・林業総合センターの試験・研究の促進 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・林業大学や林業総合センターによる知識の教示や試験研究 ・普及指導員等による地域の林業事業者等の指導など 	
令和3年度の点検結果 現状分析	課 題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・林業大学においては、質の高い人材の育成を図るとともに、林業分野を目指す学生の確保を図るために、学校の魅力を高めていくことが必要である。 ・長野県の強みであるカラマツ大径材とマツタケを活かした産業や山村の活性化に貢献するための試験研究・開発が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育の強化やICT技術を活用したスマート林業などのカリキュラムを実施するとともに、学生が安心して勉学に励むことができる環境を整備し、林業大学における次代の担い手の育成を図る。 ・全国的にみても先進的な林業総合センターの試験研究・開発を促進し、木材の新製品やマツタケの人工栽培方法を開発する。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント 主な取組 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ○林業大学校における次代の担い手の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・適正な学校運営 ・耐震性を有していない旧男子寮棟の除却、除却後の跡地の外構工事及び渡り廊下の建築に着手 ○林業総合センターの試験研究・開発の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・試験研究装置を活用した高品質・高強度な大径カラマツの新製品開発 ・マツタケ菌感染苗木によるマツタケ人工栽培の試験・研究 ・成長に優れたカラマツ等コンテナ苗木等の開発 など 	 高性能林業機械実習	 改築後の寮棟のイメージ
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<p>【DX】 林業大学校において、ICTを活用したカリキュラムを導入・実施することで、デジタルテクノロジーやICTに精通し、その様々な技術を活用できるスキルを持った林業の担い手を育成し、DXの推進を図る。</p> <p>【ゼロカーボン】 ・次代の森林・林業を支える人材の育成に取り組むことにより、持続的な林業・木材産業の振興及び森林の保全を図り、CO2の固定・吸収に寄与する。 ・木材の新製品開発や成長に優れたコンテナ苗木の開発を通じ、森林のCO2固定・吸収量の増加を図り、ゼロカーボンの達成に寄与する。</p> <p>【学びの県づくり】 実験・実習を重んじ、実践的な森林・林業教育を主眼として、社会の要請に対応し得る生きた教育を行う。</p>	 カラマツ材の利用技術の研究	 マツタケ人工栽培技術研究

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								区分(単位:千円)					
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度		
1	林業大学校卒業生で就職した者の林業関係分野への就業率	%	70.0	↑	90.0	↓	80.0	80.0	前年度繰越	0	472,716	要求	185,079
2	林業総合センターの研究成果の発表件数	件	95	↓	72	↑	80	80	当初予算	628,646	231,540	予算案	
3	体験学習の森の講座定員充足率	%	85.6	↑	89.0	↓	66.7	85.0	補正予算	-28,173	0	要求	185,079
4									合計(A)	600,473	704,256	予算案	
5									うち一般財源	563,005	106,273	要求	133,438
									決算額(B)	416,916			
									職員数(人)	86.9	85.9		
設定理由	成果指標	1.林業大学校の学生が林業の担い手として、その知識等が活かせるための指標 2.林業総合センターの研究・試験成果を広く周知し活かすための指標 3.県民参加の森林林業講座の中身の充実を図るための指標											
	目標値	1.過去の実績を基に設定 2.過去の実績を基に設定 3.過去の実績を基に設定											

事業番号	10 02 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課

細事業 No.	細事業名	R2年度当初予算	R3年度当初予算	R4年度当初予算	
1	林業大学校関係事業	545,986 千円	126,169 千円	要求 予算案 98,169 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	林業大学校費	直接	林業の担い手確保のため、高性能林業機械やタブレット端末といった先端技術を導入した専門的、体系的な授業の実施 【林業大学校卒業生のうち林業分野への就業率:80%】		
2	林業大学校教育環境整備事業	直接	令和3年度に男子寮棟を改築したことに伴い耐震性を有していない旧男子寮棟を除却し、渡り廊下の建築、外構工事を実施して、学生が安心して知識・技術の習得に専念できる教育環境を整備する		

細事業 No.	細事業名	R2年度当初予算	R3年度当初予算	R4年度当初予算	
2	研究開発の推進及び普及関係事業	82,660 千円	105,371 千円	要求 予算案 86,910 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	林業改良普及事業	直接	森林・林業に関する知識・技術の普及啓発のため、各種研修、指導及び情報発信を行う 【林業普及指導員研修予定回数:7回】		
2	林業総合センター管理費	直接	・林業総合センター施設の管理運営業務 ・ホームページの充実 【ホームページへのアクセス件数:129万件】		
3	林業総合センター試験研究普及費	直接	森林・林業に係る多様な課題解決のために、技術開発・試験研究を行う 【研究成果の発表件数:80件】		
4	林業総合センター体験学習の森事業費	直接	森林・林業に関する県民への普及啓発のため、公開講座開催や展示資料の充実を図る 【実施予定:森林教室18回、森の勉強会11回、林業体験講座3回】		